

MAGAZIN | NEWS

03.11.2021

モンディ社、 レトロフィットで既存のVAREXフィルム成膜機に新しい活力を吹き込む

23年を経過したVAREXフィルム成膜機に、より高い生産能力が必要とされていました… 引退させるべきか？レトロフィットにより新しい活力を与えるべきか？

モンディ（Mondi）社（米ミズーリ州、ジャクソン）にとって選択は明らかでした。成膜ラインを最新技術でレトロフィットさせる。「我々は予算内で検討し、レトロフィットによりラインを最適化させることに決めました。それは素晴らしい決定となりました。」と 事業部長のPJ コーミアー氏は述べています。



“アークティス（Arctis）” エアリング：W&H社提供写真

この改造プロジェクトには、新たなダイスとエアリング、70 mm押出機2台、“プロコントロール（ProControl）” “ユーザー・インターフェース、新規ドライブが含まれていた。「稼働したラインの性能は素晴らしく、フィルムの品質に改善が見られ、より多くの受注に答えることが出来るようになりました」と、コーミアー氏は続けています。これらのフィルムはロールストックとして、あるいは印刷や製袋加工用に使用されています。

「据付には1ヶ月かかりましたが、大変スムーズに進みました。しかもパンデミックの最中にもかかわらず。」とフィルム成膜部門マネージャーのドン・ファロー氏は述べています。「新しいダイスと押出機は、アークティス（ARCTIS）” エアリングと、シングルエアサプライにより非常に大きな違いを生み出し、またスペースの節約も実現しました。」

機械に関する問題が発生した場合、モンディ社では経験豊富かつ熟練した社内チームがこれを担当します。「ここモンディ社では、外部業者に依頼する前に様々なことを入念に調整しチェックします。しかし、いざ解決のために外部の助けが必要となる事案が出てきた場合は、W&H社が信頼できるパートナーであることを我々は知っています。」とファロー氏は述べています。

北米でモンディ社とW&H社とは、インフレ、印刷、加工において30年以上パートナーであり続けています。モンディ社はパッケージングと製紙において世界的なリーダーであり、森林管理やパルプ・紙・プラスチックフィルム¹の製造から、産業や消費者向けの効率的な包装ソリューションの開発・製造に至るまで、広範なバリュー・チェーンをカバーしています。同社は、米国内に12の拠点を持っています。モンディ社は2020年、グローバルで€66.6億（8,658億円）の売り上げを達成し、€13.5億（1,755億円）の利益（underlying EBITDA）を生み出しています。

モンディ社ホームページ：www.mondigroup.com



国内お問い合わせ先:

株式会社イリス

TEL: 03-3443-4280, e-mail: Japan-mp3@illies.com

HP: <https://event.irisu.jp/windmoeller-hoelscher-extruder/>